

行財政改革市民懇談会(平成25年度第2回) 会議録

日時：平成26年3月26日(水)
午後7時～9時20分
場所：市長公室

出欠状況

座長					
富田	秋山	伊藤	川尻	菅野	鈴木
欠	○	欠	○	○	○
関	時田	内藤	柳田	吉原	
○	欠	○	欠	○	
事務局(政策企画課)		課長、副課長、照屋			

内 容
<p>1 開 会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策企画課長 <p>2 あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策企画課長 <p>3 議 事</p> <p>(1) 平成25年度の行革の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づき、事務局より説明 <p>○質疑</p> <p>参加者：テレビでふるさと納税の報道を見た。税控除に加え、市町村によっては高額な贈呈品も付くお得な制度という煽り方をしている、市町村を応援するというふるさと納税本来の意味合いが薄れているように感じた。</p> <p>参加者：全国的な流れなので、ふるさと納税の煽りは市単独でコントロールはできないと思う。</p> <p>事務局：富士見市では、税控除対象外金額相当の特産品を贈呈品にしているが、送付用の箱に市のマスコットキャラクターであるふわっぴーのデザインを取り入れ、購入の際の連絡先やチラシを同封するなど市と特産品のPRの意味合いを強く持たせている。高額な寄附贈呈品などやりすぎはよくないが、市のPRの機会であることから、特産品贈呈を引き続き続けていく。</p> <p>参加者：他市に何か所かふるさと納税を行ったことがある。その経験からの提案だが、寄附お礼状の市長名が本人のサインであったり、良質紙であったりすると、もらった人はうれしいと思う。また、難しいかもしれないが、市に縁のある有名人にふるさと納税の取り組みをPRしてもらえると、高いPR効果がある</p>

と思う。

事務局：地域文化振興課でも、地域活性化組織の立ち上げにむけた取り組みを始める。地域の各分野の方々の協力も得ながら、ふるさと納税だけではなく、市全体として、市のPRや活性化の取り組みを進めていく予定である。

参加者：農産物の全国的な名産地だけではなく、富士見市でも全国からふるさと納税がされていることは驚きである。

事務局：ふるさと納税の民営サイトにもデータ提供をし、写真なども掲載させてもらっている。贈呈品として果物なども取り扱い、贈呈品の種類に幅を持たせたことが申込者の獲得につながったと考えている。

参加者：他市に比べ富士見市の個性が見えづらいことが常々気になっていたのも、ふるさと納税における贈呈品の取り組みは、全国的な市のPR方法としてこれまでにない画期的な取り組みであると思う。

事務局：産業振興にもつながる取り組みであるので、今後も取り組みを強化していきたいと考えている。

参加者：富士見市にもいいところはたくさんある。PRの機会を作ってってもらいたい。

参加者：財源に関して、市の施設の命名権については何か取り組みはあるか。

事務局：数年前に検討を行ったが、市のネームバリューがもう少し上がった時期に再検討を行いたい。

参加者：最近では事件や事故で市の名前が出ているので、市のプラス面を全国的にPRできる機会があるといい。

参加者：市の「子育てするなら富士見市で」のPRのためにも、事件事故の検証や対策を十分に行ってほしい。子どもの安全のため、見守りネットワークも活用してほしい。

(2) 平成26年度当初予算の概要

- ・資料に基づき、事務局より説明

○質疑

参加者：扶助費については、どのような状況か。生活保護の予算は。

事務局：平成26年度は保育施設整備に対する補助や子育て給付金について、国費の歳入もあるが、歳出として大きな金額となっている。生活保護については、受給者の伸び幅は若干小さくなってきているが、景気の影響などによりやはり増加傾向にあり金額は伸びてはいる。市としても、就労支援などに力を入れている。

参加者：子育て施設整備など、将来につながる支出は必要。

参加者：総務費の増加はどのようなものか。

事務局：(仮称)ふじみ野出張所等多目的公共施設の整備により総務費が増加している。

参加者：さまざまな事業において、富士見という表記する場合に、漢字とひらがなと統一性をもたせた方がいいと思う。隣の市と紛らわしく感じる人が多いの

で、漢字表記にする方がいいと思う。

事務局：雰囲気によわらかさを持たせるため、ひらがな表記を行っているものもある。すでに実施中のものを変更することは難しいが、留意すべき点ではある。

(3) 平成25年度事務事業評価について

- ・資料に基づき、事務局より説明

○質疑

参加者：配食サービスは、社協でも行っていると思う。取り組みが重なっているのではないか。

事務局：事業規模など違いがあると思うので、確認してご報告したい。

参加者：防犯対策事業について、振り込め詐欺の対策についても行うべき。振り込め詐欺の対象が、地域単位で対象になっていることが多いと聞く。警察と金融機関で対策を行ってはいるが、地域一帯で狙われることを考えると、無線放送での注意喚起が非常に効果的であると思う。防災無線の放送が難しければ、パトロールカーのアナウンスなどでも良いと思う。

事務局：税務署員を騙った詐欺などの際に、市から地域に情報提供を行った経験はある。情報提供の方法をわかりやすくするなど工夫して、今後も、被害防止に向け取り組んでいく。

参加者：市の情報サーバーを上手に作り、利用すべき。三芳町などは防犯サーバーの活用を行っている。インターネットの活用と放送などの併用で情報が行き届くようにしてほしい。

参加者：市PTA連合で全市的に、子どもの見守りの新しい運動を始める。是非広まってほしいと思う。

参加者：市の集会所の利用率について、公民館の方は利用者が多く予約が取りづらいように思うが、集会所は利用率が平均50%と低いのはなぜだろうか。市立の集会所以外に地域で設けている集会所もあるが、その稼働率が気になる。

参加者：立地や施設の設備によって、利用率に差がでることはある程度仕方ないことである。

事務局：集会所により利用率に大きく差があるが、どの集会所もぜひ活用してもらいたいと考えているので、利用者の声を聞きながらあり方を考えていきたい。各集会所の利用状況については、担当課に確認してご報告する。

(4) その他

参加者による提案、説明

- ・被保険者証などの送付事務について、名寄せによる世帯一括発送
- ・スポーツ施設の利用に関する現状報告
- ・高齢者向け支援活動の充実

参加者：子ども医療費の受給者証などは特に親が管理するものなので、世帯で一括発送で良いと思う。

参加者：重要な書類なので個々人に送るべきという考えもある。プライバシーの保護の問題もある。

参加者：個別発送と世帯一括発送で、希望制にすることもできる。

参加者：世帯一括発送にするため、名寄せや確認作業など人件費の方がかかる場合もある。希望制にした場合の対応も同様である。

事務局：世帯一括発送にすると様々なチェックや対応などが必要なため、運用上今の方法をとらせていただいているが、事務が無駄がないかという視点は不可欠。様々な考え方があるが、このように提案してもらえるのはありがたい。この懇談会は、様々な事業について、制度としてどうなのか皆さんと一緒に考える場としていきたいので、ぜひ今後も皆さんにご意見を賜りたい。

4 閉 会